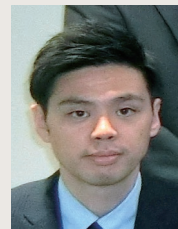


国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



良い「ロジ」は良い「結果」に

北九州市環境局環境国際戦略課 事業運営係長 加藤 雄司

クレアシンガポール事務所での2年間の在籍で、苦勞したことや得たことを考えると「ロジ」が思い浮かびました。最初は苦勞と失敗を重ねいろんな方にご迷惑をかけ、そして今となっては今後活かせるいい経験だったと思えることです。

ベトナムでのロジの失敗

出張やアテンドなどの一連の行事をスムーズに進めるために、移動手段や用務の段取り等をあらかじめ検討・準備しておくという、いわゆる「ロジ」を私はクレアで何度も経験し、そして何度も失敗してしまいました。

最初の失敗はシンガポール事務所に赴任してすぐの6月のベトナム出張でした。ベトナムである現地機関と協議する事になっており、事前に先方の日本人担当者に協議内容を連絡し、概ね了解をもらった上で訪問しました。私の予想では「現地では日本人担当者1～2人と軽い確認をするだけだろう」と考えていましたが、当日は現地機関のトップ以下7～8人のベトナム人が出席し、しかもそのトップには協議内容が全く伝わっていませんでした。通訳の手配もしておらず、説明用の資料も足りません。なんとか趣旨は伝わったものの、会議は盛り上がりならず、また条件面でも折り合わず結局合意に至りませんでした。当時の所長から「会議の出席者と使用言語はしっかり押さえること」と当たり前の指摘を受けて落ち込んだのを覚えています。

その他にも、出張現地で車のドライバーが待ち合わせ場所に来ず、さらに電話番号が間違っていて連絡がつかなかったり、出張行程を決めた後に現地の祝日とぶつかっていることが判明したり、ビザが必要な出張なのに申請がギリギリになってしまったり、通訳の力量を測り間違えて全く用を成さなかったり様々なミスを犯してしまいました。

失敗から学んだこと

しかしそのおかげで（と言うと当時ご迷惑をおかけした皆さんに申し訳ないのですが）、出張やアテンドをする際にどのようなことに気をつければよいかという「予測」をすることができるようになったと思います。海外ならではのイレギュラーな事態を多く経験できたこともこの「予測」に役立ちました。

例えば「もしかしたらドライバーの電話番号が間違っているかもしれない⇒一度出張前に電話しておこう」、「もしかしたら通訳が力不足かもしれない⇒事前に電話で話して通訳のウデを確かめておこう」と事前に予測して対応準備ができるようになりました。

私のベトナムでの失敗のように、ロジの失敗は用務遂行の成否に関わってきます。逆にロジが成功すればストレス無くスムーズな仕事をする事ができ、良い仕事結果にも結びついてきます。

この「ロジ」の重要性を学ぶことができたことが、クレアでの収穫の一つだったと思っています。



マレーシアでの現地協議の様子

プロフィール

- 現在の所属・役職：
北九州市環境局環境国際戦略課 事業運営係長
- クレアでの所属：
2014年4月～ 東京本部多文化共生課 主査
2015年4月～ シンガポール事務所 所長補佐